

もっと知りたい！知って納得！

カラダ研究室

2021
APRIL
—
Vol.12

うつ病のお薬手帳



greenhouse

「抗うつ薬」との 上手な付き合い方

うつ病の治療では、脳内で減少した神経伝達物質のセロトニン、ノルアドレナリン、ドーパミンを増やす役割をする薬が用いられます。

これを「抗うつ薬」といいます。飲みはじめて効果が現れてくるのは2~4週ほど後。かなりタイムラグがあるため、薬をやめようとする人もいますが、これは禁物です。

また、症状が改善しても、自己判断で薬を中止しないことも大切。症状がぶり返したり、かえって悪くなったりする場合があるので、抗うつ薬の服用をやめたくなったら必ず医師に相談しましょう。

いまの抗うつ薬は、以前に比べると依存性が少なくなっています。吐き気やむかつきなどの副作用が現れることもありますが、これも一時的なもので、大抵の場合、2週間を目安に緩和されることが多いようです。

とはいっても、副作用が辛い場合や薬を飲むこと自体が不安な方は、迷わず医師に相談を。あなたにあった治療プランを提示して貰うことでしょう。



カラダ研究室薬局

編集・発行 greenhouse

グリーンハウス株式会社

〒810-0001 福岡市中央区天神2-14-8 福岡天神センタービル11F [お問合せ受付時間] 9:00~18:00(月~金) ※年末年始を除く

0120-855-232

<https://www.greenhouse.ne.jp>



日本全国\実は\

16人に1人がうつ病経験者

普通の人に、
本人が知らぬ間に
忍び寄るのが「うつ」

監修／永井 宏 先生

医療法人日明会 日明病院副院長。福岡大学HDセンター(学生相談室)精神科医。福岡大学病院精神神経科外来医長などを経て現職。専門は臨床精神医学、スポーツ精神医学など。

うつ病
「カラダ」の
症状

- 睡眠障害
- 頭痛や肩こり
- 食欲不振もしくは過食
- 疲労・倦怠感
- 耳鳴り
- 下痢・便秘 など

うつ病
「こころ」の
症状

- 常に憂うつ
- 不安やあせり
- 意欲がなくなる
- 消えてしまいたいと思う
- 飲酒量が増える
- 集中できない など

変が出てきます。そのため家事が手につかなくなったりするなど、日常生活に支障をきたすようになってくるのが、う

事態を受け、政府は孤立・孤独問題を担当する

つ病の症状。普段の生活に変化が現れた場合は注意が必要です。こうなると、もはや気力や根性で解決できる

年よりも約4・5%増加。コロナ禍で人との交流が制限されたことで、孤立感を感じる人が増えたのではという見方をされています。

この事態を受け、政府は孤立・孤独問題を担当する

例えば、「楽しみや喜びを感じることがない」「自分にとつて良いことが起きても気分が滅入ったまま」「趣味や

過去の「うつ状態」とは区別されます。

例えば、「楽しみや喜びを感じることがない」「自分にとつて良いことが起きても気分が滅入ったまま」「趣味や

うつ病は脳のエネルギーが欠乏し、気分が落ち込み、意欲が低下した状態です。「心がひどく疲れている」とも言いい換えられます。

普段、私たちは宿み事や何かめることがあるでも、時間が経過とともにそれを忘れてしまいますが、そんな辛い状態が2週間以上続いた場合はうつ病と診断され、一

うつ病は脳のエネルギーが欠乏し、気分が落ち込み、意欲が低下した状態です。「心がひどく疲れている」とも言いい換えられます。

厚生労働省の平成29年の調査によると、日本のうつ病患者数は96万人^(※1)にものぼります。また、生涯の間にうつ病を経験している人は、16人に1人^(※2)にもなるという報告も。このように、うつ病は決して人ごとではなく、誰にどうても身近な病気なのです。

コロナ禍どうつ病

閣僚を今年2月に新設、「孤立・孤独対策室」を設置し、国をあげて対策に取り組んでいます。

日本のうつ病患者数は、年を追うごとに増えています。

特に最近は「コロナうつ」と呼ばれる、新型コロナウイルスの影響によるうつを抱えている人が激増。若年層にもひろがり、深刻な社会問題になりつつあります。

出典(※1)厚生労働省政策統括官:平成29年 患者調査(※2)川上零人ほか:平成18年度厚生労働科学研究費補助金、こころの健康についての疫学調査に関する研究(※3)令和2年中における自殺の状況:厚生労働省自殺対策推進室/警察庁生活安全局生活安全企画課

それ、うつ病のサインかも。

シグナル

こんな変化に 要注意!

仕事や人間関係の問題（ストレス）は、誰もが少なからず抱えています。そのため「どこか調子が悪い」とは思いつつも、それがうつ病であることに自分では気づかず、「もっと頑張らねば」と思い詰めてしまう人も多いのです。
家庭で、職場で、まわりの人にこんな異変は見られませんか？



家庭でのサイン ✓



職場でのサイン ✓

変化をCHECK!



☑ 常に表情が暗く、 眠そうにしている

うつ病患者の多くが抱えるのが睡眠障害。眠りが浅く、脳が休めません。



☑ 外見や服装を 気にしなくなった

周囲からどう見られるかに無関心になってしまいます。



☑ こもりがちで 無気力に見える

「楽しむ」という気力や余裕がなくなり、趣味から遠ざかることも。



☑ 急激にやせた、 または太った

うつ病患者の多くに食欲減退の症状が。逆に食べすぎるケースもあります。



☑ ミスが増えた

「考えがまとまらない」「集中できない」など、思考障害が原因です。



☑ 遅刻や欠勤、 早退が増えた

意欲の低下で社会的な行動を実行できず、日常生活が困難に。



☑ イライラしている

ストレスで神経が過敏になって、感情をコントロールできない状態です。



☑ コミュニケーションの 低下

友人関係を保つのも億劫になり、社会的欲求が失われます。



うつ病は「うらじて起きる 引き金はストレス

うつ病には、ストレスが大きく起因しているということが明らかになっています。また、身体に慢性的な疾患がある場合は、それがストレスとなりうつ病を発症することも。

とてもつらい出来事がきっかけに

ストレスとは「こころやカラダにかかる刺激や負荷」のこと。うつ病を発症する主な出来事としては、大切な人の死や離別、自分の病気、人間関係や家庭内のトラブルなどが挙げられます。ただ、うつ病を引き起こす原因は複雑にからみ合って、辛い出来事はきっかけであり、幼い頃に体験したことや若い頃の失恋などのストレスが引き金になることもあります。

悲しみや苦しいことがストレスにつながる

ことは想像がつくと思いますが、昇進や結婚、子どもの独立など、明るい出来事が思いもよらぬストレスになる場合もあります。これは生活環境の変化に起因すると考えられていて、人によつては対処することが難しく、ストレスとなってしまうというわけです。

「慢性的な身体疾患」が
原因になる」とも

糖尿病や高脂血症などの「生活習慣病」でも、うつ病を高い確率で発症することがわかっています。誰でも怪我をしたり、風邪をひいたりすると気分が落ち込んでしまうことがあります

が、これが慢性的疾患で回復もままならないとなれば生じるストレスは想像以上に大きいと思われます。また、うつ病になると運動不足になりやすく、逆に生活習慣病を発症することも。これらとカラダは表裏一体の関係になります。

脳内ではこんな変化が

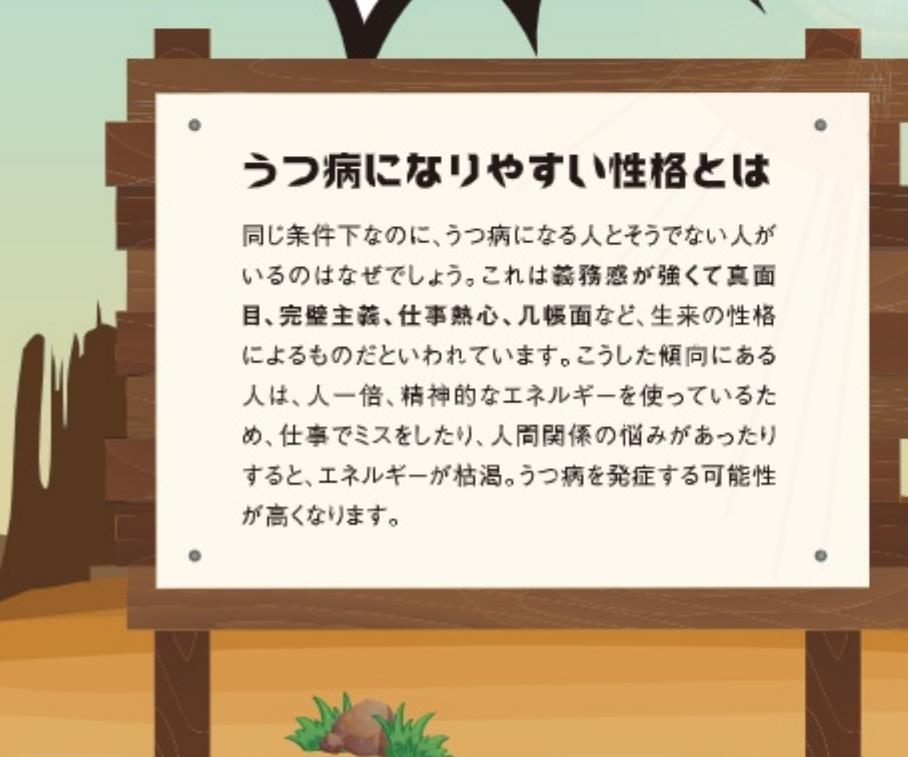
脳の中ではさまざまな情報が伝達されていますが、それを担っているのが脳の神経細胞間の橋渡しをしている「神経伝達物質」というものです。この中のセロトニン、ノルアドレナリン、ドーバミンという3種類がうつ病治療のカギになると考えられており、これらの物質がストレスや他の疾患によって減少することでうつ病を発症するとされています。近年のうつ病治療では、こうした神経伝達物質を増やす役割をする「抗うつ薬」が用いられるようになりました。

神経伝達物質の主な働き

セロトニン	「幸せホルモン」とも呼ばれ、精神の安定、やる気や幸福感を引き出すなど。
ノルアドレナリン	適度に分泌されることで、意欲や向上心を刺激し、集中力を高めるなど。
ドーバミン	楽しい、うれしいと感じる。集中力のアップ。ポジティブで意欲的になるなど。

うつ病になりやすい性格とは

同じ条件下なのに、うつ病になる人とそうでない人がいるのはなぜでしょう。これは義務感が強くて眞面目、完璧主義、仕事熱心、几帳面など、生来の性格によるものだといわれています。こうした傾向にある人は、人一倍、精神的なエネルギーを使っているため、仕事でミスをしたり、人間関係の悩みがあったりすると、エネルギーが枯渇。うつ病を発症する可能性が高くなります。



病院徹底活用術

うつ病の治療では、患者自身が精神的に弱っているため、本人の話だけでは治療のための情報が医師に十分伝わらないケースもあります。それに加え、病気に関する説明をきちんと受けとめることが難しい場合も。家族の異変に気づいたら、できるだけ病院へ一緒に行き、ともに治療に参加することが効果を高めるために重要です。

家族の 同伴も大切です

うつ病の治療では、患者自身が精神的に弱っているため、本人の話だけでは治療のための情報が医師に十分伝わらないケースもあります。それに加え、病気に関する説明をきちんと受けとめることが難しい場合も。家族の異変に気づいたら、できるだけ病院へ一緒に行き、ともに治療に参加することが効果を高めるために重要です。

自分のこころの状態を正確に言葉にするのは、とても難しいものです。話すこと自体が苦手だったり、苦痛になったりすることもあるので、事前に伝えるべきことを整理して紙に書いておくと、スムーズに医師とコミュニケーションが取れるでしょう。

医師との 信頼関係づくり

医師は、処方した薬を患者がきちんと飲んでいるのかや、気分の良し悪しなどを聞き取り、症状が改善しているかを判断します。そのため、自分の状態を包み隠さず話すことが大切です。置かれている状況や環境の変化など、病気に関係がないと思えることも、気にせず言葉にしてみましょう。

症状を上手に 医師に伝えるには

できるだけ早い 受診を

うつ病は、早期治療によって慢性化や、重症化を防ぐことができるのです。周囲の気づきや自身のこころの変化を見逃さないことが大切です。また、治療しているうちに状態がよくなってきたからといって、薬やカウンセリングなどの精神療法をやめてしまうと再発することも。自己判断は禁物です。

うつ病を治療して くれるのはどこ？

精神科をはじめ、心療内科や「メンタルヘルス科」「メンタルクリニック」といった病院名を掲げるところで受診できます。また、頭痛や吐き気など、カラダに症状が出ている場合は内科を受診してもいいでしょう。どこに行けばいいのか迷ったときは、各地の保健所や精神保健福祉センターに相談を。

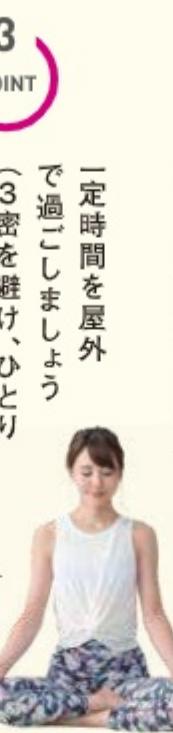
規則正しい生活で

コロナうつを吹っ切ろう!!

コロナ禍で感染への不安に加え、自宅勤務などこれまでとは違う日常に、戸惑いやストレスを感じている方も多いのではないかでしょう。ここでは、規則正しい日常生活のリズムがコロナうつを防ぎます。

自宅待機や在宅勤務であっても、決まって行う日課を設定しましょう。

同じ時刻に起きましょう。決まった時刻に起きることは、体内時計が安定して働くために最も大切です。



POINT
3

POINT
4

POINT
5



在宅での仕事や学習、料理などは、時間を決めてやりましょう。

日光浴で自然にかかる



もし、外に出られない場合は、少なくとも2時間は窓際で過ごし、太陽の光を浴びながら心を落ち着ける時間を持ちましょう。

一定時間屋外で過ごしましょう（3密を避け、ひとりでいられる場所で）。午前中の早い時間がおすすめです。

POINT
2

POINT
1

Let's get rid of corona depression!!



ストレスを減らすための生活のアイデア

- ・あたたかくておいしいものを食べる。
- ・湯船にゆったり浸かってカラダをあたためる。
- ・ペットと触れ合う時間を持つ。
- ・ネガティブな情報からは距離を置く。
- ・読書や断捨離など、自粛生活中でもできる楽しみに目を向ける。

POINT
11

POINT
10

POINT
9

POINT
8

POINT
7

自分に合った起床・就寝の時間を決め、一貫した睡眠リズムを保ちましょう。（ブルーライト）を浴びるのは避けましょう。自然な睡眠に導くメラトニンというホルモンの分泌を減らしてしまいます。



昼寝（特に午後遅い時間）は避けましょう。どうしてもとうときは30分以内に。

人の交流も大切に。リアルタイムに考え方や気持ちを分かちえる人とコミュニケーションの機会を。電話やSNSでも構いません。

毎日、運動をする習慣を。できれば同じ時間帯で。



・国際双極性障害学会:時間生物学・時間療法タスクフォース (International Society for Bipolar Disorders; ISBD)
・光療法・生物リズム学会 (the Society for Light Treatment and Biologic Rhythms; SLTBR) の提言
「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的大流行化における、こころの健康維持のコツ」より抜粋

爆睡のすゝめ。 うつ病と睡眠。

うつ病と密接な 関係がある睡眠

うつ病は、睡眠と切り離しては考えられません。不眠になつた人は、その3年後にうつ病になるリスクが4倍に。1年以上不眠が続いている場合は、うつ病になる危険性が、なんと40倍になるという報告もあるほどです。睡眠はカラダの疲れをとるだけでなく、精神的な面でも疲労の回復をもたらすという重要な役割があります。しかし、日本では成人のうち約20%が不眠を訴えている、その数は1500万～2000万人にものぼるという厚生労働省の調査結果も、たいへん深刻な状況です。

参考文献／第103回日本精神神経学会総会
気分障害診療における不眠管理の実態とその問題点

マム。

うつ病と睡眠。

20%以上の人人が
睡眠に悩みあり

厚生労働省の調査では、不眠に悩んでいる人は20%以上にのぼることがわかつています。通常は、何か嫌なことがあっても一晩寝たら気分もすっきりするのですが、不眠症になると日が覚めても辛苦、疲労感も残ったままです。こうした状態が続くことで、脳に疲労がたまり、うつ病を発症する人が少なくありません。

不眠の 4つのタイプ

入眠障害

布団に入つてもなかなか眠れず、寝つくまでに30分以上かかるてしまう、「ぐっすり眠れた、熟睡した」という感覚が得られないタイプ。

中途覚醒

眠ることはできても、眠りが浅く、朝までに何度も目を覚ましてしまう状態。

熟睡困難

睡眠時間は十分とったはずなのに、「ぐっすり眠れた、熟睡した」という感覚が得られないタイプ。

早朝覚醒

朝早いうちから目が覚めてしまうパターン。特にうつ病の症状として出やすく、診断の決め手になることが多いといわれています。

必要な睡眠にはかなり個人差があります。バロメーターとして考えたいのは、昼間に眠気を感じず、元気に活動できているかどうか。また、歳を重ねることでも睡眠時間は短くなりますので、日常生活に支障がなければ気にする必要はありません。



爆睡のすゝめ。うつ病と睡眠。

元気な毎日を 過ごすための 快眠のコツ

適度な運動習慣
は熟睡につなが
ります。



カフェインを含むコーヒーや紅
茶は、就寝4時間前までにして
おきましょう。



軽いストレッチで
体の緊張をほぐし
ましょう。



寝酒はかえって睡眠
の質を悪くするので
やめましょう。



アミノ酸の一種「GABA」
には睡眠の質を高める効
果も。



リラックスして眠るために

就寝1~2時間前のリラックスタイムが、快眠の手助けになります。入浴はぬるめのお湯でゆっくりと。読書や音楽、アロマの香りも良い眠りに導いてくれます。ラフマなどのリラックスハーブや、トマトやカカオに含まれるアミノ酸の一種であるGABAも睡眠の質を高める働きがあるといわれています。軽いストレッチもおすすめです。眼ろうと意気込みますに、自然に眠くなったときにベッドに入るようにしましょう。

Relax



入浴はぬるめのお湯に
ゆっくり浸かりましょう。



自然な眠りを誘う読書
も効果的。ただし灯り
はスタンド程度に。



最近話題のリラックス
ハーブ「ラフマ」も
おすすめです。



アロマの香りで心地
よい寝室に。

